

平成 25 年 7 月 3 日

関係大学長
関係大学院研究科長 殿
関係大学学部長
関係各機関の長

東北大学
東北アジア研究センター 佐藤 源之

教員の公募について（依頼）

このたび本学東北アジア研究センターでは、震災復興を推進するために実施される遺跡調査を円滑に行う事業の推進のため下記の要領で教員を公募いたします。

つきましては、関係各位に周知方、御高配くださるようお願いいたします。

記

- 1 公募分野 東北アジア研究センター 基礎研究部門 資源環境研究分野
- 2 職名 助教 1 名（年俸制、任期平成 26 年 3 月末日）
- 3 専門分野 地中レーダーによる遺跡調査に関する研究分野
- 4 応募資格 文化遺産に関心をもっていること。
自動車普通免許を所持し、フィールド調査のための資材、人員移動ができること。
現地文化財保護担当者などとの折衝にあたれること。
- 5 担当授業科目（学部）工学部機械知能航空工学科における演習など
（大学院）大学院環境研究科専攻で必要な授業科目の補助など
- 6 採用予定日 平成 25 年 8 月 1 日以降のできるだけ早い時期
- 7 応募締切日 平成 25 年 7 月 19 日（金）必着
- 8 提出書類

応募希望者は事前に電話、メールでコンタクトすること。

その上で、以下のうち履歴書以外の必要な提出書類を指示します。

(1) 履歴書（写真貼付のこと）

（以下は参考であり、提出を要する資料は改めて指示します）

(2) 研究業績一覧

1. 学術論文（査読あり）
2. 学術論文（査読なし）
3. 学会等論文集（査読あり）
4. 学会等論文集（査読なし）
5. 著書
6. 解説論文
7. その他

に分類の上、著者名の中でご自身のお名前にアンダーラインを付してください。

- (3) 主要な業績 10 点（コピー可、各 1 部）。それぞれに 400 字程度の日本語要旨を付けてください。
- (4) 今までの研究について、上記 10 点に触れつつレビューを行ってください。
日本語で 2000 字以内。
- (5) 着任後の研究・教育に対する抱負を書いてください。特に東北アジアにおける地域研究に関しての考えを重視します。日本語で 2000 字以内。
- (6) フィールド調査経験、共同研究・国際共同研究の企画・参加状況、シンポジウム及び国際会

議の開催・招待講演、所属学会、新聞寄稿、政策提言等、及び審議会委員その他各種社会貢献、等々が分かるデータの一覧（該当する項目について記載すること）。

- (7) 現在までに取得した科学研究費補助金等の各種外部資金のデータ一覧
- (8) 教育経験が分かる授業科目等のデータ一覧（平成 25 年度を含む最近 5 カ年間）
- (9) 学部、大学院での指導学生数（博士・修士の学位授与に関わった場合はそれについても記載すること）など。
- (10) 現在の所属機関での各種委員会や運営面で果たした役割（平成 25 年度を含む最近 5 カ年間）
- (11) 研究教育、その他の面で特記事項がある場合は、1000 字以内で記載すること。
- (12) その他審査の必要に応じて資料・書類提出を求めることがあります。
- (13) 照会可能な方 2 名の氏名と連絡先（e-mail アドレスを含む）

9 書類提出先 〒980-8576 仙台市青葉区川内 41 番地
東北大学 東北アジア研究センター 佐藤 源之宛

10 問い合わせ TEL 022-795-6075
E-mail : sato@cneas.tohoku.ac.jp
(できるだけ E-mail での問い合わせをお願いします。)

11 その他

選考にあたっては面接を実施することがあります。

なお、本人事は「男女共同参画」の理念に基づくものであることを申し添えます。
本センターに関する詳細は本ホームページ <http://www.cneas.tohoku.ac.jp> をご覧ください。

研究分野に関する詳細は以下をご覧ください。

<http://cobalt.cneas.tohoku.ac.jp/users/sato/index-j.html>

待遇については東北大学就業規定に依るものとします。

(専門分野に関する備考)

文化財や地中レーダーに関する知識に関しては基礎的なレベルで構わない。
一般的な地下計測、文化財調査、電子回路、ソフトウェアなどの経験があれば更に好ましい。

詳しくは、直接問い合わせをすること。